

岡山市連合町内会会報

第 34 号

発行人: 久世英一 編集委員長: 長門修二 〒 700-8544 岡山市北区大供一丁目 1-1 TEL:086-803-1063 FAX:086-803-1872

ホームページ簡単検索

岡山市連合町内会会報

検索へ



再低のご挨拶



岡山市連合町内会 会長 **久世 英一**

新秋の候、町内会関係各位におかれましては益々ご 清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から各地域の住民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくり、ならびに地域の活性化を目指し、それぞれの団体と共に日々ご活躍いただき、心より感謝申し上げる次第でございます。

5月の総会において岡山市連合町内会会長に再任されました。今後も誠心誠意活動していきますので、従来に増しご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年は西日本豪雨災害により平島地区および 岡山市内全域において甚大な被害を受けました。各地域におかれましては、それぞれご苦労があったと思います。今年度事業計画にもありますが、岡山市全域の地区・学区に自主防災組織を結成し災害に備えて、防災士養成講座の受講者推薦を積極的に行っていこうと思います。

私儀、平成29年6月に岡山市連合町内会長という 大役に就任し、1期2年がたち、その間皆様のご指導 ご協力により少しずつではありますが前進できたと 思っています。町内会の加入促進活動として、岡山市 と市連合町内会、県宅地建物取引業協会と加入率アップを目指して連携を図る3者協定を結びました。

会長として2年間各地区で行われた行事に参加して 地域住民の皆さんと交流させていただき、皆さんの気 持ちをこの肌で感じさせていただきました。地域の皆 さんが一丸となって準備をされ、地域の絆を深めよう と頑張っている姿に感銘しました。これからも益々地 域行事などに参加させていただき、皆さんと楽しく交 流し、いろいろ要望を聞いたり、ご指導を受け、地域 の絆を大切にしていきたいと思っています。

終わりになりますが、皆様方のご健勝、ご多幸を祈念し、重ねて町内会、連合町内会活動へのご協力をお願いして、岡山市連合町内会会長再任のご挨拶とさせていただきます。

皆さん「みんなで仲良く、楽しく」やりましょう。



定期総会の様子

 	安 21 早	目次
五和	第 34 万	日外
再任のご挨拶	1	コラム
役員紹介	_	陵南・野谷10
令和元年度定期総会概要	3	高島・江西11
市長との懇談会	5	箕島・南輝12
町内会活性化検討部会	5	G20 岡山保健大臣会合が開催されます13
自主防災組織の結成と災害対策の取り組みについて	6	電子町内会 利活用コンテスト 2019 春13
学区・地区の話題		現代アートで盛り上がる瀬戸内エリア14
大元・五城	7	岡山市連合町内会の動き15
幡多・芥子山	8	岡山県自治会連合会の動き
妹尾・浦安	9	全国自治会連合会の動き
		クイズ16
		編集後記16

役員紹介◆◆

()内は所属学区・地区

会 長



久世 英一 (平津)

副会長



萩原 正彦 (操明)



岡本 幸男 (幸島)



永見 (浦安)

常任理事



祗園 茂 (西)



加藤 公彦 (御津南)



多賀 克充 (竜之口)



藤原 毅昌 (芥子山)



伏見 公誠 (芳明)



矢吹 滋道 (妹尾)

理 事



松浦 満 (内山下)



小野 大作 (南方)



廣田 省吾 (牧石)



田中 修生 (大元)



中原 一郎 (清輝)



分島 良倶 (陵南)



上野 良雄 (津島)



大森 茂



定廣 好和 (加茂)



長門 修二 (足守)



入野 誠 (竹枝)



(平井)



那須 和夫 渡邉 唯志 (字野)



小橋 一郎 (富山)



瀧本 (旭竜)



赤枝 和寬 (豊)



渡邉 光章 (政田)



(御休)



竹井 秋人 岡崎 彰文 (江西)



(平福)



(福島)



西山 拓雄 深井 忠夫 西谷 萬二 (甲浦)



正保 弘行 (福田)



遠藤 太郎 (第二藤田)



近藤 嘉也 (迫川)



岸本 戴男 (三門)



池田 太郎 (興除)



長汐 良熊 (幡多)



光岡 久志 (西大寺南)



目黒 宏平 (鹿田)

令和元年度定期総会概要

岡山市連合町内会は、令和元年5月29日午前10時 からメルパルク岡山において、市内学区・地区連合町 内会長等の出席のもと、令和元年度定期総会を開催し ました。

はじめに、久世英一会長があいさつを述べた後、岡 山市連合町内会表彰規程に基づき、永年町内会活動に 功績のあった方々に対し、表彰状、感謝状及び記念品 の贈呈が行われました。

会長表彰

【学区(地区)連合町内会長】

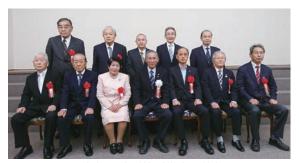
鹿田学区連合町内会 月黒 宏平 吉備学区連合町内会 西村 輝 妹尾学区連合町内会 樋口 正信

【単位町内会長】

山崎町町内会 兀 康宏 広瀬町東町町内会 長江志満子 滝本町町内会 長畑 裕之 首部町内会 原 肇宏 川﨑 徹志 浜元町町内会 操陽南山町内会 平井 資朗 中野ひまわり町内会 竹永 新保南町内会 近藤正一郎 スズラン藤田町内会 吉國 勲治 藤原 武彦 北七区会 上之町町内会 辻 吉之祐 中川上町内会 矢部 直美 平井元町町内会 内田 正夫 中山下車町町内会 光田進次郎

会長感謝状

朝日学区連合町内会 佐近 正春



表彰・感謝状受賞者の皆様

ご臨席いただいた大森雅夫岡山市長、松田安義岡山 市議会副議長から祝辞をいただいた後、議事の審議に 入りました。

- ①平成30年度事業報告
- ②平成 30 年度収支決算報告及び監査報告
- ③役員の承認
- ④令和元年度事業計画(案)
- ⑤令和元年度収支予算(案)
- ⑥ その他

慎重に審議を行った結果、いずれの議案も原案どお り承認されました。

●令和元年度事業計画

1 岡山市連合町内会の組織としての取組み

①岡山市連合町内会の地位の向上

「市民憲章」を尊重し、地域を東ねるリーダーとし ての自覚をもち、「平穏で安らぎのある地域社会」「思 いやりと譲り合いの心を育む地域社会」の構築と、地 縁組織の連合体としての役割を果たすべく全市的な視 野での情報交換や広報活動を展開するとともに、行政 等との協働による課題解決のために、必要に応じて関 係機関と折衝する。

②魅力溢れる「まちづくり」や大型イベントへの参画

岡山県、岡山市等の各種審議会等へ委員を派遣し、 住民生活に直結する諸問題について包括的住民自治組 織の代表として、意見を開陳するとともに、岡山市区 づくり推進事業審査会委員としても積極的に取組み、 区制による都市内分権型社会の推進に向けて中心的な 役割を担う。民意を反映するのは町内会(自治会)で あるとの自覚をもって活動を展開する。

③ 会員の資質向上についての取組み

地域を統括、調整するリーダーとしての見聞を広める ため時官を得たテーマにより先進都市の行政や住民自 治組織の活動状況等の視察を行うとともに、地域住民 の多様なニーズに的確に対応できるよう研鑽に努める。

④市長、市担当部局との懇談

地域課題の解決に向けて、行政と意見交換を行い、







株式会社工

〒702-8036 岡山市南区三浜町 1-9-10 TFI (086)262-0063 FAX(086)262-2836



び 岡山ガスサービスショップ岡南店 TEL(086)263-2291 FAX(086)262-2836 0120-206-739



ディサービス アイル 岡南 〒702-8036 岡山市南区三浜町 1-8-17 TEL(086)250-2021 FAX(086)250-2071

町内会と行政との相互理解と協力関係のより一層の充 実を図る。

⑤産学官及び各種団体との交流・連携

幅広い視野から地域づくりのリーダーとしての活動を行うため、行政、産業界、教育界及びボランティア組織などの各種団体との交流、連携を推進する。

⑥他自治会との協調

姉妹交流提携及び友好交流提携を結んでいる自治会 や組織の他、全国自治会連合会や岡山県自治会連合会 加盟をはじめとする他の自治会との絆を深めるととも に課題の共有と解決に向けての意見交換に努める。

⑦広報活動の充実と市民情報化の推進

岡山市連合町内会会報を発行し、当会の事業活動の 広報に努める。

また、ICT推進専門委員会を核として、市民情報 化及び電子町内会の拡大推進を図る。

⑧町内会、自治会への加入促進活動

昨今、町内会等への加入率が、やや低下傾向に推移 していることに鑑み、魅力ある町内会活動をホーム ページ等に紹介するとともに、他団体との連携により 未加入者への加入促進活動を促す。

⑨岡山市町内会長等懇談会の開催と各区連絡協議会等 との連携強化

当会の活動状況等を広く広報し、岡山市内の町内会 役員等との情報交換及び、相互の理解と連携を深める ために岡山市町内会長等懇談会を開催するとともに、 各区連絡協議会等の活動支援を行う。

⑩各種専門部会の活動強化

当会の中に設置されている各種の専門部会の活動をより活発化させ、課題解決のために、岡山市連合町内会の考えとして発信する。また、町内会の活性化を検討するための専門部会を発足させる。

⑪顕彰の実施

会長表彰・感謝状贈呈の他、叙勲、総務大臣、全国 自治会連合会会長表彰、岡山市有功表彰、県知事表彰 及び市長表彰等の顕彰制度に幅広く推薦を行い、功績 を讃える。平成22年度創設した「れんげ賞」も継続 する。

2 行政と連携したまちづくりの取組み

①子ども・子育て支援

地域の実情に合った保育や教育について、スピード 感を持ってサービスが提供されるよう、積極的に行政 への申し入れを行う。

②防災·防犯活動

防災訓練を各地域で積極的に実施するとともに、地域の防災対策を熟知した町内会において災害時の避難場所への誘導法や安否確認方法について情報を共有し、災害被害を軽減する対策を検討する。また、高齢者に対する特殊詐欺等、防犯に対応する活動を検討する。

防災士養成講座の受講者推薦を積極的に行う。

③交通対策

交通の拠点都市である岡山市の公共交通のあり方について、地域の代表として積極的に意見を出しながら、人にやさしい交通のあり方を考え、地域における交通安全のための各種活動に幅広く取組んでいく。

④男女共同参画社会の推進

女性が町内会の役員として活動しやすい環境づくり について男女共同参画専門部会において検討する。

⑤協働のまちづくり条例の推進

地域の実情を把握している学区・地区連合町内会が、 地域内で行っているESD活動等の地域活性化や課題 解決への活動について、行政等と協力して支援を行う。

3 その他

- ①「市民憲章」を当会発行の印刷物等に掲載し普及を図る。
- ②年度中途において、事業活動に繰入れるべき案件が 生じた場合は、協議の上執行する。緊急を要する場合 は持回り会議等において対処し、次回の理事会等へ報 告する。



定期総会の様子

地域とともに未来を拓く

藤 田 団 地 事 業 協 同 組 合一般社団法人藤田団地管理会藤田団地汚水処理施設管理組合

藤田企業団地自治会

-701-0221 岡山市南区藤田564番地166 電 話086-296-0020 FAX086-296-0021





市長との懇談会

岡山市連合町内会 副会長 **萩原 正彦**



7月16日、市役所会議室で市長と連合町内会役員が次の3点について懇談をしました。

①自主防災について

昨年の7月豪雨の経験から地域の共助が何より重要であり、自主防災組織の結成・活動を支援するため3億円以上の予算が計上されたが、これは今年限りかとの質問に、来年のことは言えないが、とにかくやっていきましょう。中身は不完全でも何かの形があればそこから動いていける。大きな町内会は町内に複数の組織を作ってもいいし、小さな町内会は連合という形でもいい。自主防災組織率100%を目指したい、とのことで市長の強い思いを感じました。

②こども 園について

公立の認定こども園は30園から36園に変更されたが今後どうなっていくのかとの質問に、中学校区が地域にとって非常に強いので36に変更した。基本は、民間の保育園、幼稚園、こども園で行う。ただし民間が運営する際の基準があり、そこはチェックしていく。その中で障害を持っている方などは拒否される場合もあるので、セーフティネッ

トとして中学校区に一つは公立の保育園、こども園を作って受け入れるとの 回答でした。

③人口減・高齢化(免許返還時の公共交通網など) について

高齢者が免許を返納したら交通手段がなくなるという問題に対し、それが一番で周辺部では生活交通があるし、バス路線の変更などに市としてもお金を払っていかなくてはいけない、今その調整をしているとの回答でした。

本市は市域も広く、災害リスクや地域の課題は多岐にわたりますが、今後とも 様々な要望に対し、真摯に耳を傾けていただくことを切に願い、懇談会を終えま した。



市長との懇談

町内会活性化検討部会

町内会活性化検討部会 部会長 永見 勝



今年度、岡山市連合町内会に新たに「町内会活性化検討部会」が立ち上がり、令和元年7月19日に第1回目の部会が開催されました。

これは、平成31年2月10日に開催された町内会長等懇談会の中で、「これからの町内会(活力ある町内会になるには)」というテーマでパネルディスカッションを行いましたが、活力ある町内会になるために協議する専門部会がないので、平成31年度に立ち上げて議論を進めていこうということになり、総会の承認を得て立ち上がった専門部会です。

第1回部会では、部会の正式名称決定、正副部会長選出の後、各委員がそれぞれ状況や、問題点について協議しました。この問題はすぐ効果がでるような内容ではないため、基本的な方向を定めて長期的に活動、相談して結論を出していくこととなりました。

今後の予定としては、岡山市・他市の事例の収集(成功事例や、地域別の事例)や、アンケート調査をすることなどを考えております。

この部会が、町内会活性化のための一助となるよう、努力して行きたいと思います。



理事長・院長 佐能量雄

雷(086)222-6806(代)

〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目8番35号

バス: JR 岡山駅より倉敷方面行き「光生病院前」下車

内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 心臓血管外科 神経内科 心療内科 リハビリテーション科 皮膚科 放射線科 泌尿器科 麻酔科 ペインクリニック内科 眼科 歯科

■受付時間

午前 8:30~11:45 午後 12:30~16:30

診察開始

午前 9:00~ 午後 13:00~

■休診日 土曜午後・日曜日・祝日

急患は、24時間受け付けます。(内科・外科)



「自主防災組織の結成と災害対策の取り組みについて」

危機管理室

昨年7月豪雨では、大雨特別警報が初めて発表され、 気象台岡山観測所では、48時間雨量が観測史上1位を 更新するなど、記録的な大雨となり、市内では河川堤防 の決壊をはじめ、道路や農業用施設などの損壊、7千棟 を超える建物被害などが発生しました。

岡山市では、発災直後の人命救助に続き、被災者対応や復旧対策などに努めたものの、災害経験が少ないこともあり、様々な問題や課題が明らかになり、これらの経験や教訓を基に、改善策に取り組んでいるところです。

特に今年度は、市民の皆様方が災害時に命を守る行動を取っていただくための施策として「自助・共助の強化充実」「避難情報・発令区分の見直し」「避難場所の運営等の見直し」の3点に重点を置いて取り組んでおります。

まず、自助・共助の強化充実については、昨年の豪雨 災害で幸い1人の死者・行方不明者も出さなかったのは、 市民の皆様が日頃から災害に備えられていたことや、避 難時に近所で声掛けが行われたなど「自助・共助」によ るところが大きかったことが分かりました。

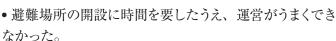
このことから、単位町内会で自主防災組織を結成していただき、地域住民同士の声掛けや安否確認、災害時要配慮者の避難支援などの活動を行うことが、被害を最小限に抑えるために最も有効と考えました。そして、自主防災組織の結成手続きの簡易化、助成制度に拡充などを行い、今年度中にすべての単位町内会に自主防災組織結成を目指し、連合町内会総会等の場をお借りして、結成のお願いに努めているところです。

次に、避難情報・発令区分の見直しについては、避難情報の緊急性や危険性が市民の皆様に十分周知できておらず、避難行動に繋がらなかった。発令された情報が分かりづらい。などのご意見をいただいたことから、避

難情報の発令を「警戒レベル」に変更すると同時に発令区域を従前の小学校区単位から町・丁目単位としました。

次に、避難場所の運営等について、

- ・災害の種別(洪水・土砂災害・ 地震など)により開設できない所 があることを周知できていない。
- 遠くの避難場所にどうにか避難 したら、近くの避難場所が開設 された。



などの課題が明らかになり、避難情報の発令区域内にある小学校・中学校・公民館(災害種別により開設できない所を除く)を原則として同時に開設することとしました。また、各避難場所の開設・運営を担う職員を決め、その職員は事前に現地確認等を行い、災害時には、早期に安定した開設・運営ができる体制を取りました。

この他にもハザードマップの刷新、被災者支援総合窓口の設置、災害ゴミの迅速な収集処理、ボランティアの受け入れ体制強化、り災証明の円滑な交付などの課題について、具体策を検討しております。

さらに、排水ポンプの点検強化や増設などの減災対策や、 災害復旧の促進等に取り組んでいるところです。

今年度は、このような取り組みを行っておりますが、今 後も皆様方のご意見等をいただきながら、更なる改善に 努めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、ご協 力ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。









地域活性化への取り組み

大元学区連合町内会 会長 田中 修生



昭和48年に鹿田小学校区と西小学校区が分離・統合して新たに発足したのが、大元小学校区で比較的新しい学区です。

学区発足当時は、大きな建物は宗忠神社や大元小学校くらいで、イ草や水稲の栽培が盛んで田園風景が広がる地域でしたが、都市化が進むにつれ店舗やマンションが建ち並び、人口は発足当時より約1万人増えて大きな学区になりました。

地域の活性化を推進するため、平成12年に地域活性化推進委員会を 結成し「サマーフェスタおおもと」を開催しました。祭りのコンセプト は手づくりの「みんなで作るみんなの祭り」であり企画、運営から会場 設営、進行まですべて実行委員会の手によって実施しています。マンションの増加により子ども達も年々増え「子どもたちの夢を育むふるさとづ くり」をメインテーマにして毎年知恵を出しながら開催しています。

地域の交流や人とのつながりが弱くなった事への危機感と、何とかつながりを強めることができないかという思いから、平成29年に地域ふれあいの場として、公民館を活用し毎月第1・3土曜日に大元ワイワイふれあいカフェを開店しました。

地域の若者、高齢者、親子連れ、転入者等幅広い世代がふれあえる場になることを願いつつ運営していますが、平成30年からは学区の各種団体が当番制で開店することになり、カフェに携わる人の輪も広がり地域ネットワークの強化にも役立っています。

地域活性化には若者の参加が不可欠になりますが、若者や子ども達が 参加しやすい事業を増やし活力ある地域づくりを目指していきたいと 思っています。



サマーフェスタおおもとの様子



大元ワイワイふれあいカフェの様子

五城どろりんピック開催について

五城連合町内会 会長 藤原 克己



五城学区は、12の町内会(約700戸)で構成された地区で新庄川と、緑豊かな又隠れた米の産地で、どの品種でも非常に美味しいところです。

今回2回目のどろりんピック(田んぽの運動会)は岡山市区づくり推進事業の補助金の助成を頂き昨年の反省、車の利便性から、五城小学校のご協力を得て、学校の一部の施設と隣接する田植え前の田んぽ2枚($20a\times2$)を使って6月9日に開催しました。バレーボールVリーグ女子岡山シーガルズの佐々木萌、西村弥菜美選手による始球式をかわきりにどろんこバレー・玉入れ・カルタとり・宝探し・綱引き・ビーチフラッグ・どろんこ相撲・ボール投げなど最初は恐る恐る足をいれていましたが、始まると同時にどろまみれで歓声と笑いで大変盛り上がりました。都市部との交流、親睦、空き家紹介などして無事終了しました。

最後に各地区のスタッフ、岡山市内の大学生 16 名と協賛いただいた企業、個人の方大変ありがとう ございました。

市内の各学区町内会の皆様、来年も実施したいと思っておりますので、是非参加の程よろしくお願いします。



どろんこバレーの様子



カルタとりの様子



綱引きの様子

地域防災について

幡多学区連合町内会 会長 **長汐** 良熊

平素より町内会活動を通じまして大変お世話になっております。晴れの国岡山でも昨年大規模 な災害が発生しました。約1週間後の7月15日に高屋公園で防災訓練を行いました。当初自衛隊にご指導していただく予定でしたが、災害発生により中止となりました。しかし、関係者の方々のご協力により予定通りAEDの使用方法、土のう積み、バケツリレー、車椅子体験等々大勢の皆様と共に訓練を行いました。

次に11月23日、幡多小体育館において「防災の集い」を開催し、小中学生を含む350人が参加しました。7月7日の豪雨災害では、平島地区は犠牲者なしという奇跡的な状況でしたが、被災当時の災害状況や平素の訓練について、平島学区連合町内会中村会長の講話を聞きました。

また、各町内会の防災マップ作りに議論を交わし避難マップも作成しました。 4月には学区全体の防災マップを配付致しました。

学区の地形は、竜之口方向の北が高く、操山方向の南が低く、西高東低で、3本の大きな用水はすべて 百間川へ流れています。そのため洪水時には竜之口もしくは沢田、今谷の山に逃げる必要があります。

今年の防災訓練は11月23日(土) に行う予定ですので多くの方々の参加をお願い致します。







講話の様子

防災マップ作成の様子

防災マップの成果発表

けしごやま学区盆踊り大会

芥子山学区連合町内会 会長 藤原 毅昌



我が芥子山学区は、昭和54年可知学区、西大寺学区から分離して出来た比較的新しい学区です。

今年で37回目の盆踊り大会は、学区の発展、住民相互の親睦・交流 を願い明るく健康な地域づくりの推進のために行っています。主催は、 学区のほとんどの団体で構成する実行委員会です。事業としては学区内 団体による屋台(約15団体)の出店、園児・児童による額行燈(習字・ 絵)の展示(約300枚)、児童有志による太鼓の伴奏(約20人)などで す。曲目は、芥子山音頭を始め6曲です。当日は朝から各種団体がそれ ぞれの担当作業を行い最後の仕上げとして消防団が水撒きをして、準備 は完了です。開会30分前から屋台は開店し多くのお客さんが来られま す。特に松崎町内会の葡萄の販売には大行列で、それぞれ趣向を凝らし たお店を開き、毎年約2,000名の方々が来られます。18時半からご来賓 の方々をお迎えし開会式を行います。その頃には櫓の周りは大混雑です。 その後、21時まで盆踊りの音楽が途絶えることはなく太鼓はたたきっ ぱなし、踊りは踊りっぱなし、焼きそばは焼きっぱなし、閉会のころは みんなくたくたです。次の日は早朝よりスポーツ少年団の練習までに片 づけを行い前日にお借りした運動場をよりきれいにして盆踊り大会は終 了です。

これからも地域の繋がりを大切にし、災害時に助け合える学区にするため、40回、50回と続けていきます。



開会前の様子



額行燈



盆踊りの様子

妹尾啓運山 盛隆寺 (通称 大寺) 妹尾学区連合町内会 会長 矢吹 滋道



妹尾学区では、春夏秋を通してお祭りがあります。 春は、桜祭り。

夏は、「七日日(なのかび)七夕祭り|毎年8月7日鬼子母神様のご縁日に子供たちの幸せと、健全育 成を願い、大七夕を飾り、盆踊りを楽しみ、夏の風物詩として昔も現在も町民に親しまれています。盛隆 寺境内、寺に面した商店街にも屋台が並びます。8 月 25 日は「せのお夏まつり」妹尾小学校第 2 グラウン ドにたくさんの夜店が出て、終盤に、地域の方々と盆踊りを踊ります。

特にご紹介したい秋の大寺御会式(おおてらおえしき)。毎年11月22・23日に町をあげて奉行します。 22 日の夜には老若男女が一堂に会し、盛大なる万灯行列が妹尾の商店街を西から東へ、大勢の人が列を作 り神輿を担ぎ、途中輪繰りといい脚台の上に神輿を置き一年の息災を願い、神輿の下をくぐります。23日 には、ご臨滅の時間にあわせ法要を営んでいます。また、同日奉賛茶会。妹尾学区婦人会による甘酒の接 待もあります。

日蓮聖人が御亡くなられた日に季節外れの桜が咲いたとの事、その伝えにより、花餅を作り奉納します。 この花餅を後世に伝えるため妹尾学区福寿会の方々が、桜祭りの時地域の方に披露し、作り方を指導し ています。また、一月には妹尾小学校にて生徒に餅つきを兼ね、花餅作りを毎年指導しています。

≪花餅とは≫ のし餅を切り、菊、松、梅などに作り、黄色はくちなし、赤はけいとう、緑はよもぎの 汁を綿筆の先に染ませてそれぞれの形に応じて彩色していたが、現在は、食紅などで色付けしています。



七日日 七夕祭り



御会式



花 餅

学区のふれあい

浦安学区浦安本町新浦町内会 会長 敬老会実行委員長 久米井 修



浦安学区は、児島湾干拓事業により誕生した比較的新しい地域です。南はその児島湖、 西は笹ケ瀬川に囲まれたのどかな田園風景が広がっています。世帯数は約3.300戸、人 口は約8,000人を超える規模で、新しい住宅も少しずつ増えています。

地域の行事として春はウォーキング大会、夏はふれあい夏祭り、秋は体育祭等を行っています。その 中で毎年開催している敬老会を紹介したいと思います。

今年で67回を重ねる敬老会は「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」ため に町内会と各種団体が中心となり計画して始まりました。その後、町内会と連合町内会が引き継ぎ、現 在は連合町内会と各種団体の協力で今日に至っています。毎年200人位の参加者があります。式典に続 き演芸の部が始まります。地元幼稚園児とのふれあい・小学校金管バンド演奏・備中神楽・アコーディ

オン演奏等毎年違う出演者で楽しんで頂いています。 以前は午前の部、午後の部と一日開催でしたが最近は 午前中で閉会しています。

少子高齢化の時代に入り、浦安学区も人口の4人に 1人が65歳以上となりつつあります。なかなか厳しい 運営の面がありますが、出来る限り続けて行きたいと 思います。



敬老会の様子

犬養毅(木堂)[憲政の神様]をしのぶ

陵南学区連合町内会 会長 分島 良倶





内閣総理大臣に就任した木堂 (昭和6年12月)

岡山県で最初の総理大臣になられた大政治家 犬養毅 (号を木堂と称する)。明治から昭和にかけて、政党政治を打ち立てることに努力されました。清廉潔白な人柄で、非常に優れた政治家でした。昭和6年(1931)12月、第29代の総理大臣となりましたが、昭和7年(1932)5月15日に政府のやり方に不満を持つ軍の青年将校の凶弾に倒れました。その時に、

襲撃した青年将校に対する「話せばわかる」と言う最後 の言葉はあまりにも有名です。

木堂は、安政2年(1855) 4月20日に、備中国川入村(現在岡山市北区川入)の犬養家の次男として誕生し、幼名を仙次郎と言いました。7歳の時から漢学を学び優れた才能を発揮していました。ところが14歳の時に父親を病気で亡くし、暮らしは決して裕福ではありませんでした。明治8年(1875) 21歳の時に、志を立てて上京し、明治23年(1890年)7月に、帝国議会が開設され、第1回衆議院選挙に岡山県から立候補して当選しました。昭和7年(1932)5月に暗殺されるまでの間、連続18回当選しました。一貫して「話すこと、議すること」を信条とす

る議会政治家でしたので、今も「憲政の神様」と讃えられています。

犬養毅(木堂) 先生の生誕地である吉備地区の財産であり岡山県民の宝でもある木堂先生を地域のシンボルとして、その歴史と功績を讃え継承していかなければなりません。こうした中で、地域の一大イベントとして「吉備・陵南おかやま木堂ふるさとまつり」を開催することにより、素晴らしい吉備文化の継承と地元出身の偉人の功績を学習し、また、地域交流の場として、毎年夏には「木堂先生」を仮装し、生誕地から地域住民が盛大にパレードを展開しています。

地域づくりは「遊び心」がとても重要だと思います。そ

して活動そのものが楽しくなければ長続きしません。みんなが楽しく元気に活動していればその地域が元気にはなり、結果的にその地域が活性化し安心して住める街づくりに結びつくと思います。



吉備・ 陵南おかやま木堂ふるさとまつり

次代を担う子供たちと

私の住む津高地区には、馬屋上、野谷及び横井の三つの小学校区があります。山村の風情から都会的な様相が感じられる地域までと、それ程広くない区域にも関わらず日本が直面する様々な問題があり、とりわけ子供の人口減が大きな課題です。

全校で十数人の学校もあれば、900人のマンモス校もあるなど、人口増加地域と減少が続く地区が混在するところなのです。

我が家の近くにある野谷小学校は、1クラス20人余りの小さな学校ですが、地域住民の一人として何が出来るのだろうと思い、私の好きな農業を通じて子供に作物を栽培する楽しさと、食の大切さを伝えたいと小さな活動をしています。

その一つがもち米の栽培です。田植えは3年生16人と地域の人たち数人で昔ながらの手植えでしたが、恐る恐る裸足で田圃に入った子供たちもしばらくすると、キャーキャーと喜んで走り回り足跡だらけで「田植えが出来んがー」と。それでも一時間余りで2アール程植え、全員が「楽しかったー」と言っておりました。

秋には稲刈り、餅つき、そして正月用のお飾りづくりと、 稲の一生を体験させることで何かを感じ取ってくれたらい

野谷学区連合町内会 会長 大森 茂

いなと思っています。

その他にもサツマイモや野菜も栽培しますし、田圃に レンゲを植え、一面のお花畑の中で子供が遊び、大人が 微笑むような場所づくりに努めています。そして今は賛同 してくださる方も増え、少しずつですが実を結びつつある と感じています。

成長した子供たちが、「あの時こんなことをしたよな」 と思い出して、その次の世代にバトンタッチをしてくれる ことを信じて活動を続けたいと思います。



田植えの様子

環境大臣表彰を受賞して

高島学区高島東町町内会会長 藤原 浩



平成30年10月18日、福島県で開催された全国環境 衛生推進大会において、当町内会が大臣表彰の栄に浴し ました。

早速に町内会で受賞の報告をしたところ、地球環境対策や海洋プラスチックのゴミ対策が課題となっている昨今、小さな町内会には思いもよらない名誉なこと、是非記念の植樹と標柱を立ててはという熱い想いが寄せられました。

立派な表彰状は、町内の集会所に掲げ、モクセイを植 樹し、隣に標柱を立てました。

標柱には、岡山県の交通安全基本スローガン

「思いやり車社会のあいことば」

町内会の活動指針としている

「この町をあなたのハートでさわやかに」

を表示し、高島駅利用の通勤、通学者にも理解と協力 を呼びかけています。

わが町内会は、純農村から都市化の波にのった新興地区です。昭和51年2月20日に、岡山市環境衛生連合協議会長から、環境衛生優良地区コンクールで、優秀な成果を収め、表彰されるなど環境衛生に対する先人たちの篤い思いが脈々と受け継がれています。

ゴミ出しの五種分別の導入時には、いち早く大型のゴ ミ置き場、名づけて「高島東町クリーンセンター」を建設

したところ、時の安宅市 長の現地視察を受けました。

岡山市のスローガンとしている美しいまちづくりに呼応している一町内会のささやかな歩みは、次の世代にもつないでいきます。



環境大臣表彰状



まちづくりの基本は防災と子育ての環境づくり

江西学区連合町内会 会長 岡崎 彰文



江西学区は、平成 19 年に岡山市に合併した瀬戸町の 西側に位置する、面積 18.10 平方キロ、人口 11,000 人余、 約 5,000 世帯の地域です。

JR 山陽本線瀬戸駅を中心に、学区内には保育園・こども園から、県立高校・大学まで9校園が存在し、公共施設も多く整備され、自然災害も比較的少ないことから、子育て環境が整った安心して住める安全なまちとして、人口が年々増加しています。

昨年(平成30年)の7月豪雨では、学区内でも、内水による床下浸水被害がありましたが、大事には至らず一安心したところです。

しかし、近年の集中豪雨は、どこでも発生する可能性があり、また、南海トラフ大地震も予想されていることから、100パーセント安全安心とは言いきれません。

そこで、当学区では、毎年、学区をあげて防災訓練を行い、住民の防災意識の高揚を図っています。今年の訓練には、600名を超える大勢の親子が参加し、徐々に防災への関心が高まってきていると感じています。

また、昨年、平島学区で発生した災害時には、被害に 遭った子育て中の家庭を助けようと、『助け合うお母さん の会』が結成され、子どもたちの預かりや居場所づくり などの活動が始まりました。災害時の助け合いは、平素の繋がり・絆が必要との考えで、今でも活動が続いています。

このような自発的な取り組みができる、若い世代の活力が存在する江西学区が、子育てしやすく、防災意識が高い、健康的な生活をおくることができる魅力的なまちに、益々なっていくことを期待しています。



防災訓練の様子



健やかな子らの成長を願って

箕島学区連合町内会 太田 雅敏



4月29日、平成最後の昭和の日「箕島鯉のぼりフェア」 が開催されました。会場は、箕島小学校の北、竹田上 池・下池、佐間田池と美しい森が点在する通称三ツ池地 区で、近くにはホタルが生息している「ふれあいの里公園」 もあり、休日には備南平野や常山の眺望を楽しみながら ウォーキングやルアー釣りを楽しむ人々も訪れる自然の美 しい所です。

この日は、早朝から幼児や児童を中心に多くの家族連 れの方々が参加して、フライドポテト、バラ寿司、山菜五 目、わらび餅、綿菓子、飲み物、フリーマーケット等の お店に行列ができるほどの盛況ぶりでした。またステー ジでは子どもたちの歌やダンス、和太鼓の演奏など名演 技に明るい笑い声や歓声の絶えない楽しい半日でした。

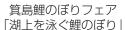
このフェアは、「昭和の中頃まで家々の庭で多く見られ た鯉のぼりが年々減って寂しい。子どもの成長を願う行 事を後世に残したい」という70代のおじさんたちの思い に共感した地域コミュニティや福祉関係各団体の皆さん が協力して発足し、今年第12回目です。

また、毎年夏休み最初の土曜日に行われる「箕島子ど も夏祭り」は今年25回目を迎え、会場の小学校校庭に は千人近い学区民が集う地域最大の祭りです。十数張り のテントに15~16の夜店が並びたくさんの飲食屋台や

ゲームコーナーはどこも大盛況でした。舞台では、児童 の活動紹介や盆踊り、バルーンアート、銭太鼓、和太鼓、 抽選会や花火など子どもも大人も楽しめるプログラムが6 時から8時過ぎまで続き、良く食べ良く騒ぎ思い切り楽し い夏祭りでした。

消防団、民生委員会、愛育委員会、交通安全団体、 各町内会等の協力のもと主催した「子ども育成会」役員 の努力に拍手を送り、地域の未来を担ってくれる子らの 健やかな成長を祈りたいと思います。







箕島子ども夏祭り 「仲良くおしゃべり! お店めぐり!|

我が学区の紹介

南輝学区は、岡山市南区に位置し、南区一番の商業 施設が形成されています。天満屋ハピータウンを始め、 大小のスーパーマーケットや岡山労災病院などの医療 施設などがあり、生活する上においては大変住みやす い地域です。

私は南輝学区連合町内会長に就任して今年で7年目 を迎えます。

私の希望は学区の皆様が南輝に住んでよかった、こ れからも南輝に住み続けたいと思っていただけるよう な地域づくりを目指しています。連合町内会を軸に各 種団体が力を合せて、安全安心、そして楽しく暮らせ る地域づくりを目指しています。

このような地域づくりを目指すために必要なことは 住民の皆様の絆、そして親睦です。

このような私達の思いを実行する為に各町内会長に 協力いただき、次のようなイベントを行っています。 学区では、グラウンドゴルフ大会、体育祭、岡南神社 の夏まつり、秋季大祭、ウォーキング大会、ニュース ポーツ大会があります。そして町内会毎(9町内会) に開催している盆踊り大会や餅つき大会なども行われ

南輝学区連合町内会 渡辺 邦弘

ています。

このようなイベントを通じ、皆様が顔を会わす事に より万が一の災害の時には「自助」「共助」の気持ち で乗り切っていきたいと思っています。

南区に「南輝学区あり」と思っていただけるような 学区を皆様と共に力を合せて作っていきたいと思って います。



西尾上川·桜路



岡南神社

G20岡山保健大臣会合が開催されます

G20保健大臣会合推進室

今年、10月19日(土)・20日(日)の2日間、ホテルグラ ンヴィア岡山を会場にG 20 岡山保健大臣会合(以下「会合 | という。)が開催されます。

この会合は、6月に開催されました日本初のG20大阪サミッ トにあわせて開催される関係閣僚会合の1つで、主要20か 国の保健担当大臣(日本は厚生労働大臣)が一堂に会し、 国際社会が直面する様々な保健課題等を議論します。

このため市、県を中心に、岡山市連合町内会をはじめと した各種市民団体、医療関係団体等の皆様と「G20岡山 保健大臣会合支援推進協議会(以下「協議会」という。)」 を設立し、会合の開催支援や世界への岡山の情報発信、さ らには、岡山の健康なまちづくりを加速させるため、様々な取 組を進めています。

この会合には一般の方は参加できませんが、協議会では、 ご自身やご家族の健康について考える良いきっかけにしてい ただくことを目指してサイドイベントを開催するほか、まちを 美しく保つことで、参加者へのおもてなしにつなげたいと考 えています。市民の皆様の清掃や植栽などの日常的な活 動も会合の成功へ向けた大きなお力添えとなります。

G20岡山保健大臣会合への関わり方は様々ですが、お もてなしの心を持って、参加者をお迎えしましょう!

- ◎サイドイベント
- ◆開催日時 10月19日(土)、20日(日)
- イオンモール岡山(1階未来スクエア、 5階おかやま未来ホール)
- ◆イベント内容 筋肉体操体験、健康食セミナー、 ストレッチ・ヨガセミナー等



電子町内会 利活用コンテスト2019春

岡山市電子町内会

2位 富山学区連合町内会 3位 古都学区連合町内会

岡山市電子町内会では、町内会、学区・地区連合町内会が独自のホームページを作り、地域のイベント、話題、 防災情報などを掲載しています。https://townweb.e-okayamacity.jp/

電子町内会全体の継続・発展に向け優れたコンテンツ作 成に尽力された町内会を表彰することで、より一層のコ ンテンツの充実を図るために、2019年春に利活用コンテ ストを実施しました。

今回は、パソコン、スマートフォン等でだれでも投票 できる形で実施しました。

<投票期間>4月1日~4月30日

< 投票結果>

【フォト部門】 町内会えりすぐりの写真に投票

1位 富山学区連合町内会



山水画の如く雪景色に佇む 名刹曹源寺本堂

2位 牟佐町内会



町内会運動会 「みんな一緒・避難リレー」





沖田神社子供会陽

【自由テーマ部門】 町内会の特集ページに投票

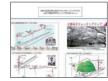
1位 牟佐町内会



「牟佐っ子」子ども教室



セピア色の写真に偲ぶ 「昔とみやま写真館」



地域ふれあい ウォーキングマップ作成

●投稿記事数と投稿文字数が期間内に多かった3町内 会をそれぞれ表彰しました。

	【投稿記事数部門】	【投稿文字数部門】
1位	母谷区自治会	富山学区連合町内会
2位	竜之口学区連合町内会	母谷区自治会
3位	西学区連合町内会	西学区連合町内会



「現代アートで盛り上がる瀬戸内エリア ~岡山芸術交流 2019 と瀬戸内国際芸術祭~」

岡山芸術交流実行委員会事務局

9月下旬から、岡山・香川の両県で現代アートの祭典が 開催されるのはご存じでしょうか?岡山市では9月27日から 11月24日までの期間、岡山城・後楽園周辺エリアの歩い て回れる圏内にある歴史文化施設を会場に、最先端のコンセプチュアルアートを展示する国際現代美術展「岡山芸 術交流2019」が開催されます。2016年秋に開催した第 1回開催では、延べ23万4千人の方にご来場いただき、 他の芸術祭とは一線を画す展示内容などに、来場者や専 門家からも高く評価を受けました。

一方、9月28日から11月4日には、香川県の島々や岡山市の犬島を舞台に「瀬戸内国際芸術祭2019」の秋会期が開催されます。2010年の初開催以降、3年ごとに行われている同芸術祭は今年で4回目。瀬戸内の多島美と現代アート作品を楽しむ人で毎回にぎわう、日本を代表する芸術祭と言えるでしょう。

なぜ、こんなにも現代アートが国内外の多くの人を惹きつけるのでしょうか。私たちは前回の開催を通じて、国境・地域・性別・世代の違いを超えて、人と人、街と人をつなぐ無色透明の接着剤としての力を、現代アートが持っているのを強く感じました。また、現代アートを「よく分からない」という人もいますが、同世代を生きる作家による、一見「わからない」作品に出合い、時間をかけて考えたり想像したりすることは、きっと新しい価値を生む力になるのではないでしょうか。

私たちの暮らす瀬戸内エリアで、それぞれタイプの異なる芸術祭が開かれるこの秋。現代アートに興味のある方もない方も、ふだんは目にすることの少ない作品の数々に触れ、芸術の秋を満喫していただければと思います。



https://www.okayamaartsummit.jp/2019

瀬戸内国際芸術祭 2019

9月28日—11月4日 https://setouchi-artfest.jp

✗ 岡山商工会議所

会 頭 松 \blacksquare 久 島 副会頭 中 基 善 副会頭 井 清 裕 石 副会頭 梶 谷 俊 介 副会頭 髙 谷 昌 宏 専務理事 髙 橋 邦 鉁











岡山市連合町内会の動き

- ◎定期総会<関連記事P3>(5月29日)
- ◎常任理事会
- ・第1回(4月18日)30年度事業報告と会務報告 他
- ・第2回(6月10日) 三市姉妹交流会について 他
- ・第3回(7月24日) 三市姉妹交流会について 他
- ・第4回(8月21日) 岡山市町内会長等懇談会について 他

◎理事会

- ・第1回(4月25日)30年度事業報告について他
- ・第2回(5月29日)役員候補者等の選任 他
- ・第3回(6月24日) 三市姉妹交流会について 他
- ・第4回(8月5日) 三市姉妹交流会について 他
- ・第5回(9月2日) 岡山市町内会長等懇談会について 他
- ○役員候補者会議(5月16日)役員候補者の選任 他

- ○会計監査会議(4月25日) (7月23日)
- ◎専門委員会
- · 会報第34号編集委員会 (6月26日) (7月31日) (8月20日) (9月4日)
- ·広告取扱等検討委員会(6月24日)
- ·ICT推進専門委員会(6月26日)
- ・町内会活性化検討部会 <関連記事P5> (7月19日)
- ·男女共同参画専門部会(7月30日)
- ◎岡山市長との懇談会<関連記事P5>(7月16日)
- ◎商工会議所との懇談会(8月23日)
- ◎受賞報告
- ◇岡山市連合町内会会長表彰(5月29日)
- ・10年以上学区・地区連合町内会長の職にある方またはあった方 … 3 名(表彰状)
- ・15年以上単位町内会長の職にある方またはあった方…14名(表彰状)
- ・5年以上学区・地区連合町内会長の職にあって退職された方 …1名(感謝状)
- ◇永年勤続町内会長·区長等岡山県知事表彰(5月21日)
- ・岡山市関係…15名
- ◇春の叙勲(5月28日) 大和田 黎子



岡山県自治会連合会の動き

- ◎定期総会(6月17日)
- <勝央町総合保健福祉センター>
- ·特別功労感謝状贈呈
- ・令和元年度事業計画等の審議 他

◎正副会長協議

(6月5日)

(6月17日) (8月16日)



■全国自治会連合会の動き

◎常任理事会

4月24日(東京都) 6月12日(東京都) 8月29日(宮崎県)

◎理事会

6月12日(東京都)

8月29日 (宮崎県)





さくらホール 江 並 岡山市中区江並88-1



さくらホール 十日市 岡山市北区十日市西町9-15



さくらホール 岡山駅前 岡山市北区駅元町5-1 ☎086-898-1234



さくらホールきびつ 岡山市北区西辛川425 **☎086-284-4500**

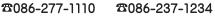


さくらホール 上 道 岡山市東区中尾380 四86-278-0001



西大寺 さくら亭 岡山市東区久保161 **2086-943-8000**

昨年オープンしました!!



簡単検索とさくら祭典を検索し



漢字クイズ

下記の文字を使って、2字熟語を作ってください。 例)十十十月日日 答え「早朝」

- ① 土一寸日口門
- ② 求二一甲土予
- ③ 冊売糸糸戸
- ④ 米果ノー立貝
- ⑤ 文日十糸立



正解者の中から抽選で10名の方に粗品を進呈します。 〒住所・氏名を記入の上、下記までお送りください。

〈送付先〉〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1 − 1 岡山市連合町内会 会報編集委員会

〈締 切〉令和元年10月31日必着

〈発表〉発送をもって代えさせていただきます。

前号の答え

①-エ②-カ③-ア④-イ

(5) - コ (6) - オ (7) - サ (8) - ケ

 $9 - 2 \quad 10 - 4 \quad 11 - 7 \quad 12 - 7$

岡山市市民憲章を知っていますか?

岡山市は美しい自然と豊かな風土に恵まれ、すぐれた教育文化の伝統を持っております。私たち市民は、この岡山市を愛し市民であることを誇りにしていますが、さらに、みんなの努力と協力によって、より美しく住みよい近代的民主社会を築いてゆくことを念願し、ここに岡山市民として実践してゆかねばならない日常生活の規範を定めます。

- 一 みんなに親切をつくし、あたたかい楽しいまちをつくりましょう。
- ー 秩序と規則を守り、明るい安全なまちをつくりましょう。
- 一 花や木をたいせつに育て、美しい緑のまちをつくりましょう。
- 一 紙くずやゴミの始末をよくし、気持ちよい清潔なまちをつくりましょう。
- 一 文化財をたいせつに守り、伝統あるゆかしいまちをつくりましょう。

編集後記

岡山市は、2018年7月に発生した西日本豪雨では、過去最大規模の災害を経験し、私達は自然災害の恐ろしさを改めて認識させられました。これを教訓として地域住民同士の「自助・近助・共助」の強化充実を構築する意味からも、減災に備えた「自主防災組織」の結成が早急に整備されることが求められております。

さて、本号は令和元年度定期総会の模様及び、岡山市において10月19日~20日に開催される「G20岡山保健大臣会合」や、執筆者の協力を頂き各区の話題・コラムでは、参考になる取り組みや訪れてみたい地域が盛り込まれています。

編集委員会では、今後更なる内容を充実し、皆様 方に親しまれ・読みやすい紙面作りに努力してまい りたいと思いますので、引き続きご支援、ご協力を 賜りますよう節にお願い申し上げます。 最後になりましたが、ご協賛くださいました企業、団体様及びお骨折り頂きました関係各位並びにご寄稿くださいました皆様方に心より厚くお礼申し上げ、編集後記といたします。

【編集委員長】長門 修二

【編集副委員長】小野 大作

【編 集 委 員】多賀 克充·正保 弘行

竹井 秋人・西山 拓雄

